

機動隊員等を励ます会 北陸支部総会に220人

挨拶する樋口理事長



機動隊員等を励ます会北陸支部総会が3日、新潟市の新潟グラウンドホテルで開催され、総勢220人が参集した。冒頭、故・今井幹文北陸支部長（藤田金屬社長）の冥福を祈り全員で黙とうを捧げた。

北陸支部世話人を代表し山根博史三星金屬工業社長は「今年は災害が多発。来年は改元や大阪G20、ラグビーワールドカップ、20年の東京五輪が続き警戒と挨拶した。

警備の任はますます大きくなる」と挨拶した。

本部の樋口眞哉理事長（山陽特殊製鋼社長）は「当会は純粋に民間の立場から支援する有志が集まり始動。北陸

地域は地政学的に重要な地。来年は特別な警備を要する案件が山積している。全国の機動

隊は治安の最後の砦として崇高な使命を果たされるよう活動を継続していく」と語った。

益田浩新潟県副知事は「親交を深め現場の苦勞を伺いたい」と花

角英世知事の挨拶を代読。花岡和道新潟県警察本部長が「県民、国民とのよき懸け橋に」

と挨拶した。

渡部智明北陸支部世話人（三井物産新潟支店長）は乾杯の挨拶で

「海外赴任を経験し日外と直接交流が必要。」

本ほど安全、安心に住企業、観光客が安心して当地に来ていただ

るよう活躍を期待」と語った。

謝辞で小森也寸志機動隊長が挨拶し、「この世を花にするために」を全員で合唱の後、藤井邦之北陸支部顧問（新日鉄住金新潟支店長）が故・今井支部長の会員拡充に向けた活動を振り返り、安全な業務遂行を祈願し万歳三唱を行った。

前段の講演会では中野小路たかまろ氏が新潟弁で交通警察時代に気付いた想い、人との縁の大切さを振り返り、渋谷暴動事件で殉職した同期・中村警部補らの思い出を語った。

北陸支部総会並びに激励会



全員で高らかに“合唱”

「海外赴任を経験し日外と直接交流が必要。」

謝辞で小森也寸志機動隊長が挨拶し、「この世を花にするために」を全員で合唱の後、藤井邦之北陸支部顧問（新日鉄住金新潟支店長）が故・今井支部長の会員拡充に向けた活動を振り返り、安全な業務遂行を祈願し万歳三唱を行った。

前段の講演会では中野小路たかまろ氏が新潟弁で交通警察時代に気付いた想い、人との縁の大切さを振り返り、渋谷暴動事件で殉職した同期・中村警部補らの思い出を語った。